



● 昭和9年生まれ
遠藤 耐藏さん
えんどう たいぞう
 (協生)



昭和22年10月、樺太から引き揚げてきた私は、秋田第三までの道中で、初めて水田を見たことが今でも心に残っています。縁があって造材業に携わり、現在は榎遠藤組を営んでいます。

私は自分の力を過剰に考えず、背伸びをしないで一步一步やってきました。人との出会い、縁が大切ですね。元気の源は、3食しっかり食えること。汗をかくこと。冬は薪割り、夏は山仕事です。これからの林業は機械化を進めて、安全に効率よく仕事をしてほしい。山仕事は危険が多く、事故が起きないようにしなければなりません。プロ意識を持ち、常に基本を守り、手抜きをせずに作業することが大切です。

● 昭和57年生まれ
中井 高志さん
なかい たかし
 (拓実)



高校、大学、実業団とラグビー一筋。引退後、平成23年に置戸へ戻ってきました。現在、肉牛を育てていますが、当初はゼロからのスタート。地域の皆さんに助けられました。地元と同級生が多く、とてもいい刺激になります。人間ばん馬やミニバレーも同級生から誘われて始めました。誘われると断わりません。本当は家でコーヒーを飲み、映画鑑賞が好きなのですが…。

昨年、人間ばん馬大会では、同級生チームを結成。優勝し、監督を胴上げするまでやめられません。今年も欲張らずに自然体で、家族みんな健康に過ごしたいですね。

● 昭和21年生まれ
池田 艶子さん
いけだ つよこ
 (北光第2)



縁あって平成14年に「途の駅ほっこう」をオープン。娘2人も近くに住んでおり、私たち夫婦のことをいつも気にかけてくれます。本当にありがたい。幸せなことだと思っています。店には、トラックの運ちゃん、わざわざハイヤーで来店する町内の常連さんもいます。若い子には、「かあさん」と呼ばれることも。お客さんと大きな声で話して、笑い合うのが楽しいね。いつも体を動かしているのが好きだから、逆にお正月休みは疲れてしまいます。若い頃に比べると、体力も落ちたけれど、店は体が続く限り無理をせず、自分のペースで続けたい。寸胴（鍋）が持てなくなるまでは頑張りますよ。

● 平成6年生まれ
石井 みずきさん
いしい みずき
 (西町)



趣味はゲーム・アニメ・漫画などのインドア派。絵を描くことやモノづくりも好きです。勤務先である役場1階の金融窓口には、季節ごとに「おけばんばくん」のペーパークラフトや粘土細工を作って飾っています。細かい作業が楽しいです。兄と妹がいますが、妹と一緒にカラオケで歌ったり、趣味の話で盛り上がるなど周りからは「仲がいいね」とよく言われます。

昨年は初めて劇団四季の「ライオンキング」を観に行きました。機会があればまた行きたいと思っています。いつか京都やギリシャなどの旅行にも行ってみたいですね。